

Game Report

開催場所：九州共立大学 鶴鳴記念館

試合区分：第 23 回全九州大学バスケットボールリーグ戦 男子 1 部

試合期日：2016 年 9 月 10 日(土)

試合時間：15:00~

主審：川原 禎仁

副審：峰 聰

九州産業大学	○ 9 7	24	—1st—	20	● 7 7	鹿屋体育大学
		21	—2nd—	22		
		25	—3rd—	11		
		27	—4th—	24		

第 1 ピリオド

出だしから、鹿屋大 # 1 7 土器手のジャンプシュートが決まり、流れを掴んだ鹿屋大。激しいディフェンスから # 2 9 宮崎の 3 P シュート、# 6 森山のバスケットカウント等で鹿屋大が 9 点のリードを奪う。しかし、九産大も負けじと # 1 3 上良のバスケットカウント、# 4 7 宮崎の 3 P シュートが決まり逆転に成功する。その後もお互い点の取り合いとなり、拮抗した状態が続くが、終了間際、九産大 # 2 9 舟越のブザービーターが決まり、24-20、九産大のリードで第 1 ピリオド終了。

第 2 ピリオド

開始早々、九産大は # 3 0 松川、# 1 1 金丸の 3 P シュートが立て続けに決まり、30-20 とリードを広げる。鹿屋大も確実にシュートを沈め、30-24 となったところで、九産大がタイムアウトを請求。タイムアウト後も鹿屋大の勢いは止まらず、# 4 3 横川の 3 P シュート、# 1 7 土器手のリバウンドシュートで 1 点差に詰め寄る。互いに取られたら取り返すといった激しい攻防が続く中、九産大はリバウンドを粘り、得点へと繋げ、45-42。九産大リードで前半を折り返す。

第 3 ピリオド

先に勢いに乗ったのは九産大。堅い守りから # 2 9 舟越がバスケットカウント、ジャンプシュートを決め、52-44 とリードする。流れを変えたい鹿屋大はタイムアウトを請求。しかし、九産大の勢いは止まらず、# 1 2 安藤、# 2 4 金城が得点を伸ばし、点差を広げる。鹿屋大も # 1 2 川尻の気迫のリバウンドや、# 2 5 石山のバスケットカウントで点数を詰めるが、走る攻めを展開した九産大が 70-53 と大きく点差を広げ、第 3 ピリオドを終える。

第 4 ピリオド

第 3 ピリオドの勢いそのままに、九産大は # 1 3 上良の 3 P シュート等で得点を重ねていく。鹿屋大も # 3 0 深江が意地のドライブを決める。また、# 2 5 石山がフリースローを確実に決めていき、点差を縮める。一進一退の攻防が続く中、九産大はドライブからディフェンスを崩し、息の合った合わせでリード保つ。鹿屋大も # 1 7 土器手、# 6 森山の 3 P シュートで対抗するも、逆転には及ばず。九産大が後半終始リードを保ち、97-77 で勝利した。